

ことなら… エンディングサポートみやぎ 株式会社 マスジユウ 0985-64-8219 エンディングサポートみやぎ 検索

- 3 東芝半導体買収、1.8兆円か
 - 5 退位特例法案名「陛下」外す
 - 19 自殺者10年で3割減少目標
 - 21 「今年こそ」県民GW旅行熱
- 【地域情報】 12 週末、釣りガイド
【地域統合】 13 武者行列へかぶと手作り

木造率29.7% 全国3位

本県公共建築物



15年度 過去最高 国、県補助後押し

施設も一部含まれるが、大半は診療所や保育所、障害者施設など民間の医療・福祉施設などが占め、生活空間に木材を取り入れようとする動きが広がっている。

15年末に県産スギ材で乳児専用の保育棟を整備した宮崎市和知川原1丁目「認定こども園ソレイユ」(中村浩子園長)は、先行して13年に木造の本園舎を建設。中村園長は「木造が家庭的な雰囲気を演出し、落ち

県によると、県内で整備された木造公共建築物は、15年度が4万2413平方メートル(延べ床面積ベース)で、新築、増改築面積全体の29.7%を占めた。その割合は、県が統計を取り始めた08年度の14.9%から11年度は25.7%へ上昇、15年度は前年度比3.9ポイントアップし過去最高に。

林野庁がまとめた全国の割合でも、平均の11.7%に対し、本県は秋田(38.6%)、岩手(30.8%)に次ぐ3番目の高さだった。

木造公共建築物に自治体関連

公民館や介護施設、保育所など県内の公共建築物の木造率が2015年度、過去最高の29.7%を記録したことが県のまとめで分かった。全国3番目の高さ。林業県としての豊富な森林資源と加工技術を背景に国、県の補助が後押しし、憩いの場を中心に県産材による快適な空間づくりが進んでいる。



木材を活用した「認定こども園ソレイユ」の乳児棟(宮崎市和知川原1丁目(横山侑季撮影))

を衆参両院で開くと合意、衆院は5月8日で決まり、参院は9日をめどに調整する。衆参の震災復興特別委員会は27日にそれぞれ吉野氏の所信を聴取する。所信聴取後に国会は正常化する方向だ。

「首相として改めて被災地の皆さまに深くおわびを申し上げる。復興は安倍内閣の最重要課題だ」と述べた。さらに「(政権に)緩みがあるとの指摘を真摯(しんし)に受け止めなければならぬ」とした。

民進党の蓮舫代表は党会場で今村氏について「辞めて済んでいい」と述べた。蓮氏は「2000年に初当選し、環境副大臣などを歴任。細田派に所属する。衆院震災復興特別委員長を務めていた。」

閣僚辞任は、12年12月の第2次安倍内閣発足以降、5人で一議員辞職に止まる発言だとした。民進、共産、自由、社民の野党4党は幹事長・書記局長会談を開き、首相責任をたたくことを確認した。

(井口健二)